

川場移動教室における放射線等への取組みについて

■川場移動教室について

川場移動教室は、自然に親しむ機会の少なくなった都会の子どもたちが、川場村の自然や文化に触れ、集団生活と様々な体験活動を通して、豊かな人間性を培うことを目的に、区立小学校5年生を対象に授業の一環として実施しているもので、飯ごう炊さんや村めぐり等さまざまな体験活動を行います。教育委員会としましては、安心して参加いただけるよう調査、対策を行っています。

■原発事故による放射線等の影響への取組み

東日本大震災での原発事故による影響につきましては、川場村と世田谷区が連携しながら、放射線量の測定や除染作業等を行い、さらに専門家による線量評価の結果等を踏まえ、移動教室が安全に実施できると判断し、移動教室を実施してまいりました。

下記の放射線量の状況や川場村における様々な取組み等を踏まえ、放射線等の影響に関して川場移動教室が安全に実施できると判断し、令和7年度も川場移動教室を実施いたします。

■区民健康村施設及び周辺における放射線量測定結果【世田谷区測定】

世田谷区では、移動教室の宿舎である区民健康村を安心してご利用いただくために、施設及びその周辺の空間放射線量(地上1メートル)を毎月測定しています。

これまでに、比較的線量の高かった場所については、平成25年3月までに除染作業を実施済みです。直近の測定値でも、国が追加被ばく線量の長期的な目標としている毎時0.23マイクロシーベルトを下回っており、安全が確認されています。

その他の移動教室で活動する場所も含めた測定結果は、区のホームページで公表しています。(右の二次元コードよりご覧いただけます)



■移動教室に関する専門家の評価【川場村提供】

移動教室の実施にあたり、川場村では、移動教室の主な行程に沿って宿舎、キャンプファイヤー地点等の空間放射線量を測定し、専門家による評価を行いました。

その結果、滞在期間(2泊3日)の合計線量は、「ふじやまビレジ」2.56マイクロシーベルト、「なかのビレジ」2.83マイクロシーベルトであり、健康に影響を及ぼすレベルとは考えられないとの評価を受けました。

専門家による評価は、区のホームページで公表しています。
(右の二次元コードよりご覧いただけます)



写真(左) ふじやまビレジ
写真(右) なかのビレジ